

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プログラミング基礎	
科目基礎情報					
開設学科	ITスペシャリスト科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	アルゴリズムとデータ構造問題集、アルゴリズム解法				
担当教員情報					
担当教員	田嶋	実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア		
学習目的					
「アルゴリズムとデータ構造」の科目と連携し補完しあいながら進めていく。最も一般的な言語のひとつであるC言語を通してプログラミングの基礎的な能力を身に付けてもらうことを目的として行う。アルゴリズムの説明と演習を通して、プログラミングの概念や基本的な考え方を学ぶ。プログラムを作成する上で基本となる型や変数、演算、制御構造(条件文、繰り返し文)などについて基礎から学習する。この授業では、論理的な思考能力、実習に基づく専門能力、問題解決力を、身につけることを目的としている。					
到達目標					
プログラムを作成にするにあたって、言語の文法の習得だけでは自由にプログラムを作成することができない。アルゴリズムを理解し、自身が考える処理の流れ図に当てはめて作成できるようになることが目標である。更に、アルゴリズムを十分理解したうえでプログラミングを作成する上で基本となる型や変数、演算、制御構造(条件文、繰り返し文)などを利用したプログラムの読解と作成ができるようになることを目標とする。（論理的な思考能力・実習に基づく専門能力・問題解決力）					
教育方法等					
授業概要	C言語の基本的な文法を理解して、アルゴリズムとデータ構造で作成した流れ図をもとに、Cプログラミングに置き換える。C言語の実行環境のもとで、アルゴリズムで作成した通りにプログラムが動作するか検証をする。検証した結果、正しいプログラミングのコードが書けてなければ、デバックを行い、動作と検証を繰り返し行う。				
注意点	テキスト、問題集、ノート、筆記用具、ノートパソコンを必ず持参すること。毎回の授業は、前の回までの授業の内容が身についていることを前提に行うため、必ず復習を行うこと。授業時間内に終わらなかった演習問題があった場合は、各自で次の授業までに終わらせておくこと。授業に出席するだけでなく、社会人への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。特別な理由（路線の運休、法定伝染病など）のない遅刻や欠席は認められない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	環境構築		環境構築、プログラム作成の流れを理解できる		
2回	基本文法と予約語		C言語の基本文法と予約語を理解できる		
3回	定数と変数		定数と変数、よく使うデータ型、printf関数を使うことができる		
4回	判断文と比較演算子		判断文と比較演算子、代入演算子、算術演算子を理解し適切に使うことができる		
5回	多分岐構造		多分岐構造、入れ子の考え方とインデントを理解し適切に使うことができる		
6回	評価付けプログラム		評価付けのアルゴリズムを理解し、プログラムの作成ができる		
7回	for文		反復構造①for文による繰り返しを理解し適切に使うことができる		
8回	while文		反復構造②while文による繰り返しを理解し適切に使うことができる		
9回	do while文		反復構造③do while文による繰り返しを理解し適切に使うことができる		
10回	多重ループ		多重ループ構造を理解し適切に使うことができる		
11回	配列と添え字		配列と添え字、配列の並び替え処理（選択法）を理解し適切に使うことができる		
12回	配列の並べ替え		配列の並び替え処理（交換法）を理解し適切に使うことができる		
13回	線形探索		配列の探索処理①（線形探索、番兵法）を理解し適切に使うことができる		
14回	二分探索		配列の探索処理②（二分探索法）を理解し適切に使うことができる		
15回	総合演習		これまで学んできた内容を総合的に活用できる		